

CASE 07

糸魚川市における観光に関する分析

はじめに

分析結果

- 1 糸魚川市の観光入込客数の推移
- 2 糸魚川市の目的別観光客数の推移
- 3 糸魚川市の滞在人口の月別推移
- 4 糸魚川市の目的地の人気ランキング
- 5 ヒスイ関連の観光スポットの入込状況
- 6 糸魚川市観光協会が薦める「糸魚川の楽しみ方」

まとめ

コメント

糸魚川市における観光に関する分析

はじめに

糸魚川市の観光入込客数は長らく減少傾向にあったが、2009年に世界ジオパークに認定されたほか、15年の北陸新幹線開業などもあり増加基調にある。また、国内有数の「ヒスイ」の産出地とされる同市は、16年9月に「ヒスイ」が国の石に認定されたことを受けて、さらなる観光客増加に期待を寄せている。

本分析では、RESASを活用して、「ヒスイ」に関連した観光施設を中心に観光地の現状を探った。

分析結果

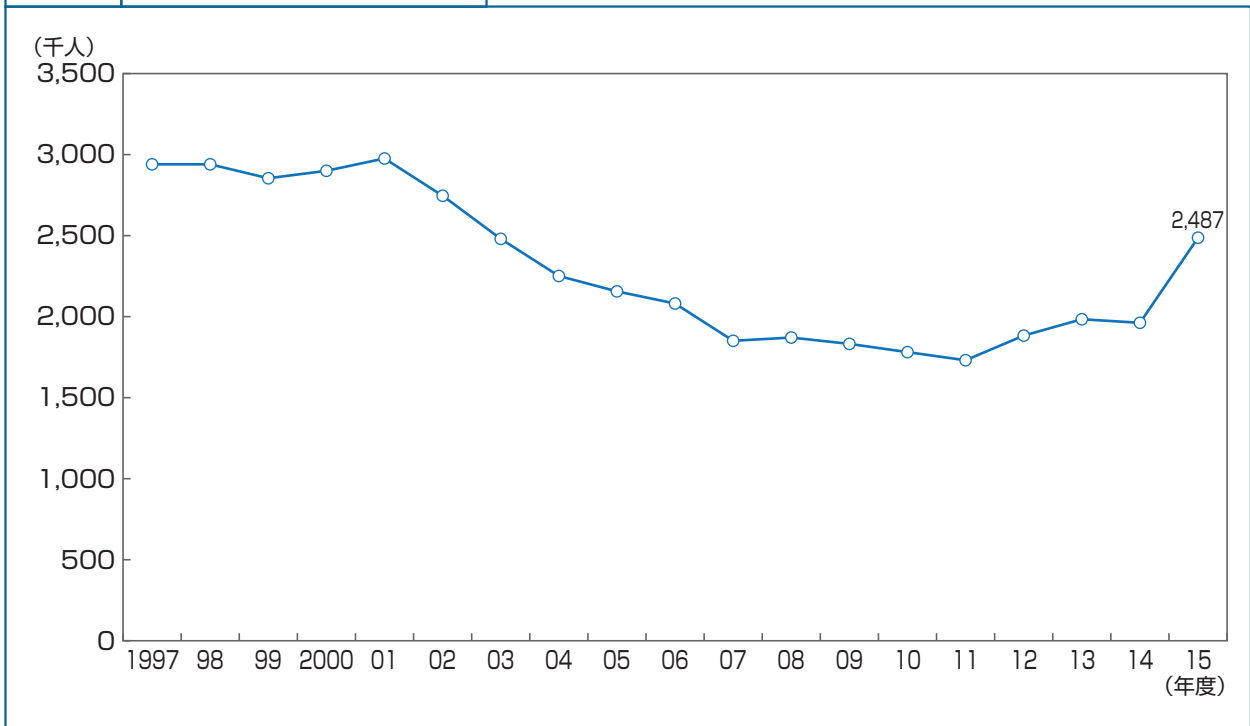
1 糸魚川市の観光入込客数の推移

糸魚川市がまとめた「糸魚川市の観光の状況について」をもとに、糸魚川市の観光入込客数の推移をみると、02年以降、減少傾向にあったが、11年を境に増加傾向に転じている。特に15年度には、北陸新幹線の開業や「国際ご当地グルメグランプリ2015 in 糸魚川」の開催などから2,487千人となり、14年度（1,962千人）から大幅に増加した。（図表1）。

2 糸魚川市の目的別観光客数の推移

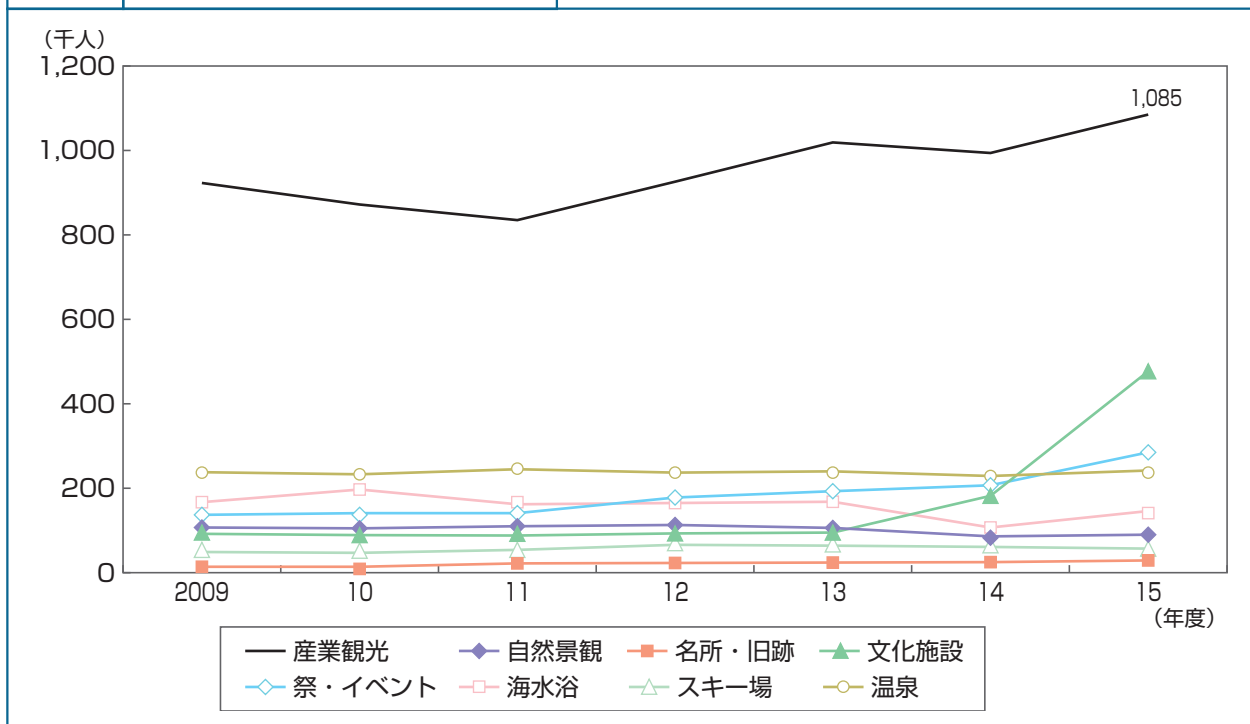
次に、観光入込客数を目的別にみると、15年は、マリンドリーム能生やヒスイ王国館などの「産業観光」が1,085千人と最も多くなっている。以下「文化施設」「祭・イベント」「温泉」などの順となっている。特に近年は、ジオステーションジオパルの開業やフォッサマグナミュージアムの改装などにより「文化施設」の観光入込客数が伸びている（図表2）。

図表1 糸魚川市の観光入込客数の推移



(資料) 糸魚川市交流観光課「糸魚川市の観光の状況について (平成27年度版)」

図表2 糸魚川市の目的別観光入込客数の推移



(資料) 糸魚川市交流観光課「糸魚川市の観光の状況について (平成27年度版)」

糸魚川市における観光に関する分析

3 糸魚川市の滞在人口の月別推移

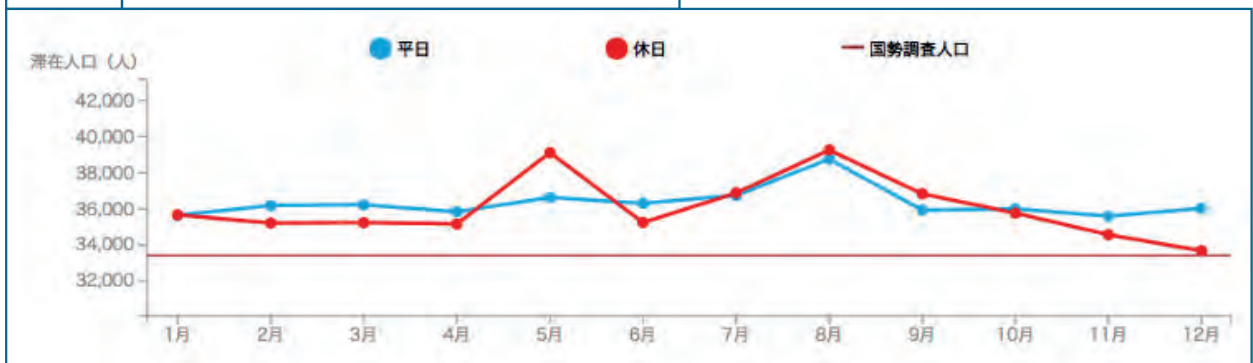
次に、RESASのまちづくりマップ「滞在人口率」を使って、糸魚川市の滞在人口（指定地域の指定時間〔14時〕に滞在していた人数の月間平均値〔平日・休日別〕）をみている。15年・14時時点の糸魚川市の滞在人口を月別にみると、休日を中心に5月と8月の滞在人口が多くなっている。ゴールデンウィークや夏休み期間の観光入込客数が多いことがうかがえる。一方、11月～3月の期間の滞在人口が休日を中心に少なくなっており、冬期間の観光入込客数が少ないことが分かる（図表3）。

続いて、糸魚川市を訪れる人は、どこの都道府県・市区町村からの人が多いかを確認する。RESASのまちづくりマップ「From to分析（滞在人口）」を使って、1年で観光入込客数が最も多い8月（休日・14時）の滞在人口をみると、新潟県内では隣接する上越市のほか、新潟市西区・中央区、長岡市などからの滞在人口が上位を占めている。一方、新潟県外では富山県、石川県、長野県などからの滞在人口が多くなっている（図表4）。

4 糸魚川市の目的地の人気ランキング

RESASには、ウェブサイトやスマートフォンなどで提供されているナビゲーションサービスにより経路検索された目的地の人気ランキングを把握することができる。そこで、RESASの観光マップ「目的地分析」を使って、糸魚川市内の観光施設の人気度（注目度）を表す目的地検索ランキングをみると、「道の駅 能生」の検索回数が762回で最も多くなっている。その他の上位をみると「白馬岳蓮華温泉ロッジ」（241回）、「フォッサマグナミュージアム」（236回）、「親不知ピアパーク」（230回）などとなっている。また、ヒスイを拾うことができることで有名な「ヒスイ海岸」（83回）は8位となっている（図表5）。

図表3 まちづくりマップ「滞在人口率」 新潟県糸魚川市

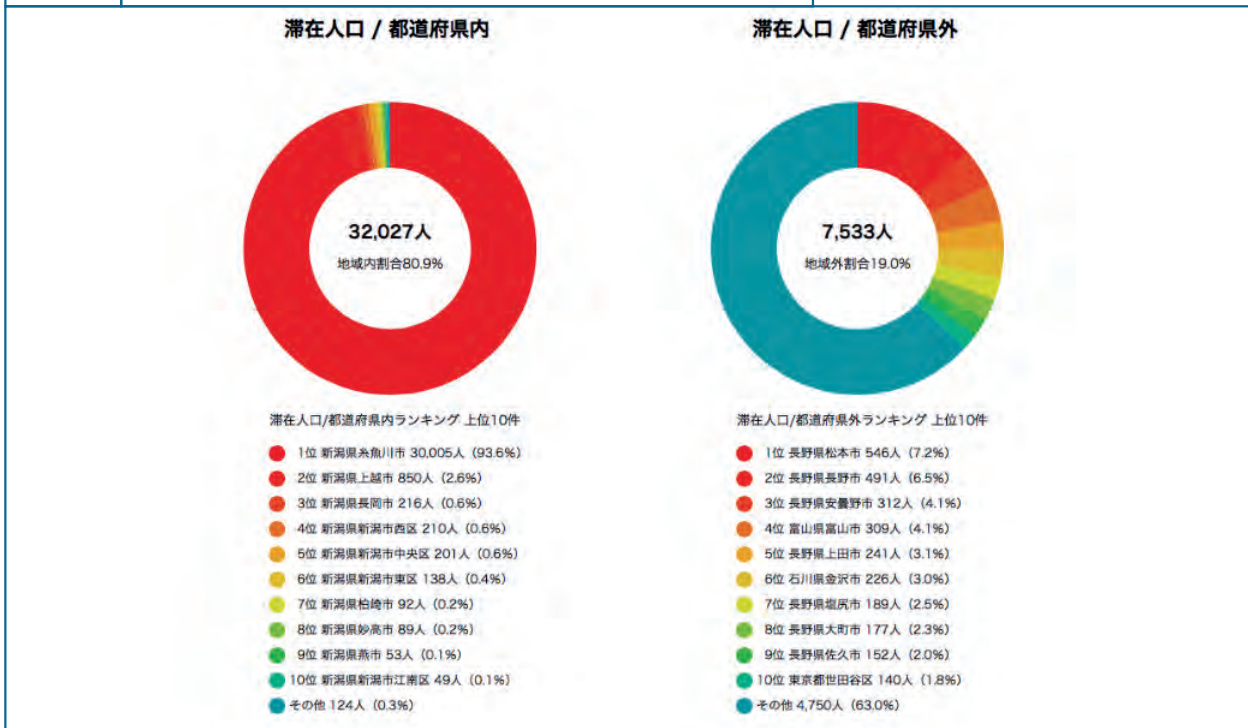


(資料) RESAS

【RESASの操作手順】

RESASトップ→メインメニュー→まちづくりマップ→滞在人口率→【新潟県】【糸魚川市】→表示年月を指定する【2015年】【1月】→表示時間帯を指定する【14時】→表示する性別を指定する【総数】→表示する年代を指定する【総数（15歳以上80歳未満）】→グラフを表示

図表4 まちづくりマップ「From to分析（滞在人口）」新潟県糸魚川市

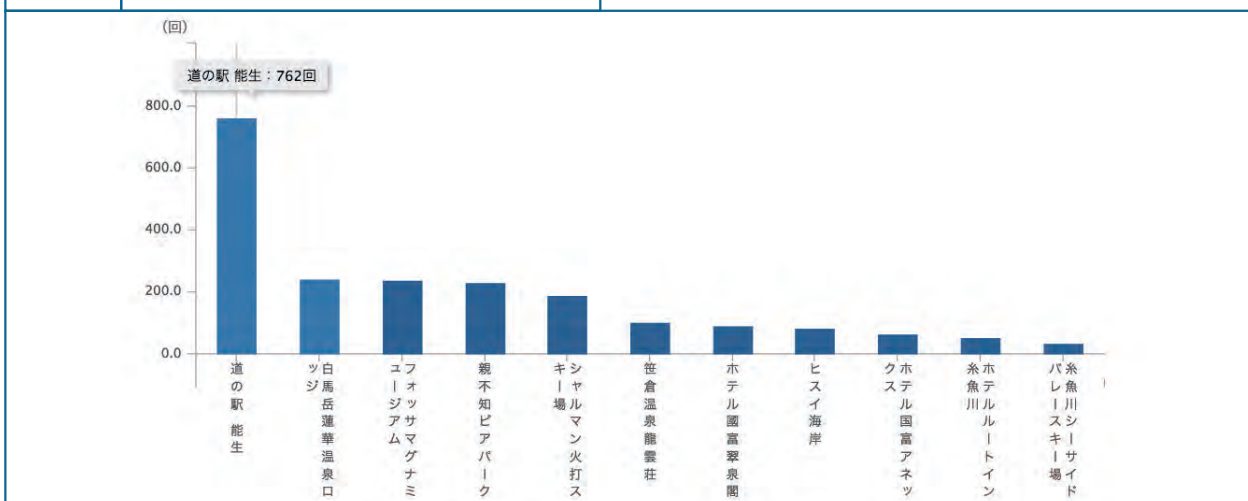


(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→まちづくりマップ→From to分析（滞在人口）→【新潟県】【糸魚川市】→表示地域単位を切り替える【市区町村→市区町村（指定地域）】→表示年月を指定する【2015年】【8月】→表示する内容を指定する【休日の動向を表示する】→表示時間帯を指定する【14時】→表示する性別を指定する【総数】→表示する年代を指定する【総数（15歳以上80歳未満）】→グラフを表示

図表5 観光マップ「目的地分析」新潟県糸魚川市



(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→観光マップ→国内→目的地分析→【新潟県】【糸魚川市】→表示年月を指定する【2015年】【すべての期間】→平日・休日を指定する【休日】→交通手段を指定する【自動車】→目的地検索ランキングを表示

糸魚川市における観光に関する分析

5 ヒスイ関連の観光スポットの入込状況

ヒスイが国の石に認定されたことから、RESASのまちづくりマップ「流動人口メッシュ」を使って、糸魚川市内のヒスイ関連の観光スポットへの人の流動状況（15年8月・休日）をみてみる。

図表は、暖色系ほど人の流動が多く、寒色系ほど少ないことを表しているが、中心部から離れた「青海川ヒスイ峡」や「小滝川ヒスイ峡」などの自然景観を楽しむことができるヒスイ関連のスポットでは人の流動が少なくなっている。一方、「ヒスイ海岸」を含む「糸魚川海岸ジオサイト[※]」では相応の流動がみられる（図表6）。

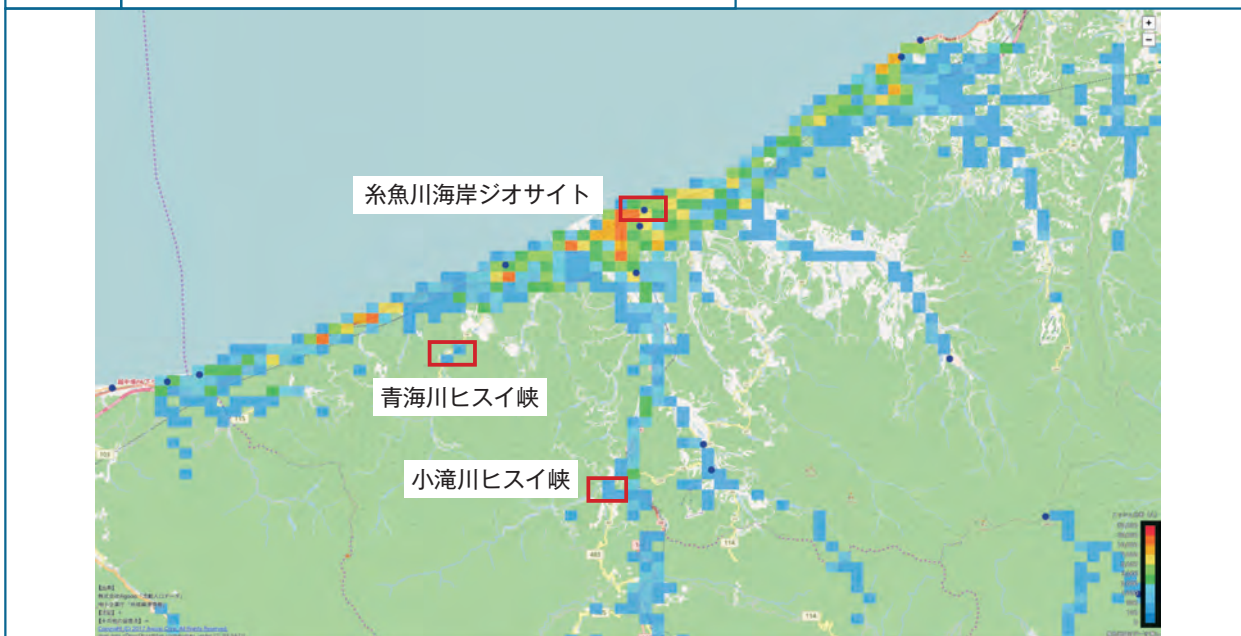
「糸魚川海岸ジオサイト」を拡大した図表でみると、「ヒスイ海岸」周辺に加え、ヒスイの原石がみられる日本庭園である「翡翠園」や、その近隣で仏像が展示されている「谷村美術館」と鑑賞式庭園である「玉翠園」周辺にも、「ヒスイ海岸」と同程度もしくは、それ以上の流動がみられている。

※地質や文化・歴史を感じることができる場所を「ジオサイト」と呼び、糸魚川市内には24のジオサイトがある。
（資料）糸魚川ジオパーク協議会ホームページ
（<http://www.geo-itoigawa.com/index.html>）

6 糸魚川市観光協会が薦める「糸魚川の楽しみ方」

一般社団法人糸魚川市観光協会のホームページにある「糸魚川の楽しみ方」をみると、「ヒスイ海岸」で楽しめるヒスイ探しや、糸魚川ジオパーク観光ガイドを利用したツアー、翡翠園や谷村美術館、小滝川ヒスイ峡などを巡る糸魚川定期観光バスなどが紹介されている。ヒスイを重要な観光素材と位置づけたこれらのツアー等は、ヒスイが国の石に認定される前からPRしてきている。特に、糸魚川定期観光バスは満員となるコースもあるなど、少しずつ認知度も上がってきている。

図表6 まちづくりマップ「流動人口メッシュ」新潟県糸魚川市

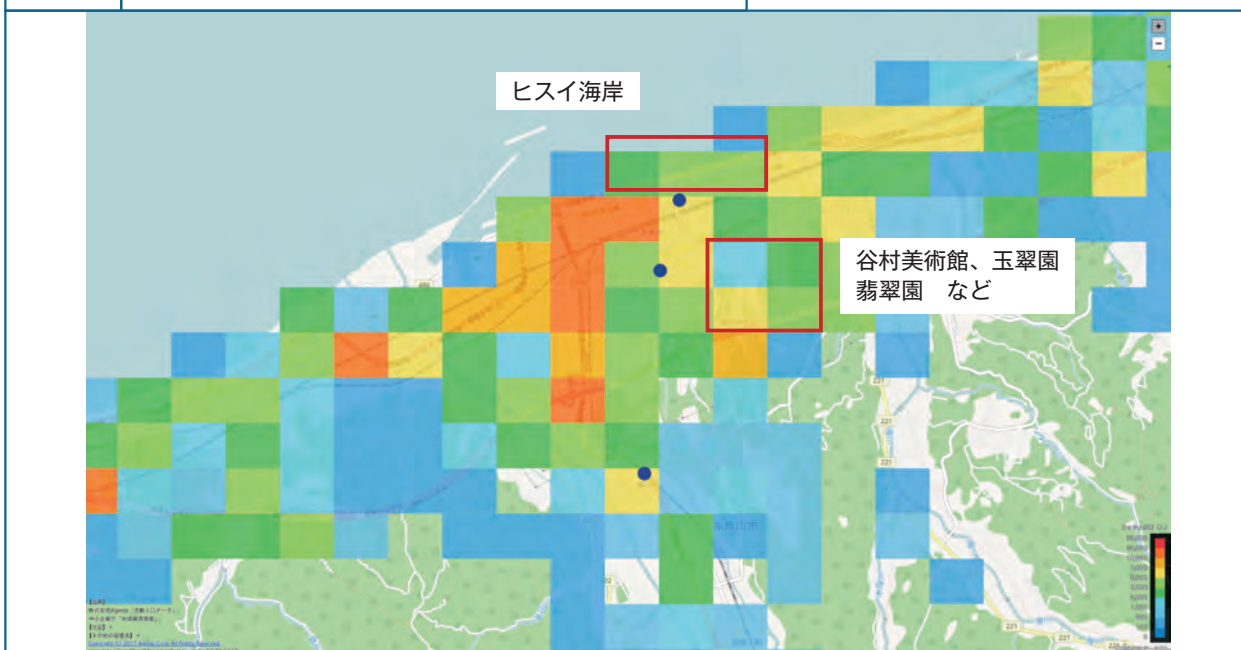


(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→まちづくりマップ→流動人口メッシュ→【新潟県】【糸魚川市】→表示年、月、時間を指定する【2015年】【8月】【指定なし】→表示する内容を指定する【休日の動向を表示する】→メッシュを読み込む

図表7 まちづくりマップ「流動人口メッシュ」新潟県糸魚川市



(資料) RESAS

[RESASの操作手順]

RESASトップ→メインメニュー→まちづくりマップ→流動人口メッシュ→【新潟県】【糸魚川市】→表示年、月、時間を指定する【2015年】【8月】【指定なし】→表示する内容を指定する【休日の動向を表示する】→メッシュを読み込む

糸魚川市における観光に関する分析

ま と め

糸魚川市の観光入込客数は、隣接県などからの入込を中心に増加傾向にある。今後は、北陸新幹線を活用した首都圏や関西圏からの誘客に一層注力していくものとみられる。

また、これまで観光客に人気のあった観光スポットは道の駅や温泉施設などが中心であったが、15年に改装した

フォッサマグナミュージアムでは入込が増加に転じている。

今後は、ヒスイが日本の石に選定されたことなどを追い風に、糸魚川市内に多数点在するヒスイ関連スポットが誘客の牽引役となることが期待される。

《一般社団法人糸魚川市観光協会 事務局長 滝川 一夫 氏のコメント》

2015年3月の北陸新幹線の開業以降、首都圏や北陸地方、さらには関西圏からのお客さまが、少しずつですが増えていると感じていました。一方、今回の分析結果をみると、糸魚川市を訪れて下さるお客さまの主力は、新潟県内や長野県のお客さまであることを再認識したところでした。引き続き、新潟県内や長野県において、糸魚川市の観光PRを進めるのはもちろんのこと、首都圏や北陸・関西圏に向けた情報発信も一層強化していきたいと思っています。

その際、糸魚川市にしかない観光資源を積極的にPRしていきたいと思っています。その一つが国の石に認定されたヒスイです。今回の分析でも指摘されているとおり、糸魚川市には、ヒスイに関する観光施設や自然景観、体験プログラムが多数あります。今後は、これらの観光素材を結び付けた旅行商品の造成などを強化していく予定ですが、今回の分析のように客観的なデータ分析の結果を十分にふまえていきたいと思っています。